

平成29年度危機管理学シンポジウム ～核爆発・放射性物質テロに備える～

横須賀市 市民安全部長
小 貫 和 昭



テーマ1 事態を覚知できるか

①核爆発シナリオ

起きることが「派手」。全都道府県に1つ以上モニタリングポストが設置されているので、恐らく覚知できる・・・はず

②放射性物質テロ

モニタリングポスト周辺ならば、覚知可能。
そうでないと・・・

テーマ2 対処方法(当面の住民対応)

N系災害とはFightしない。逃げるのみ

①核爆発シナリオ

当面、屋内退避。

避難方針が(国で)決定されたら、それに従う。

②放射性物質テロ

当面、屋内退避。どこが安全でどこが危険か特定するまで、かなりの時間を要するのでは

テーマ2 対処方法(汚染住民対応)

①核爆発シナリオ

当面、考えない。

できもしないことには、労力を割かない。

②放射性物質テロ

公的な大規模避難施設を設置したら、その入り口で、どこから避難したかを確認し、特定の場所からの避難者には、上着・帽子の脱衣除染をし(夏はどうする?)体表面のサーベイか？

テーマ3 住民への周知方法

ここからは、横須賀私(?)案

国民保護事態は滅多に起きない。
事態の解説などは、防災行政無線では無理。
伝達能力で、テレビに勝るものはない。
テレビなら誰でも見れる(使える)。
ワンセグなら、停電にも強い。

テーマ3 住民への周知方法 続き

関東地方一都六県を例にすると

東京⇒NHK総合

神奈川⇒Eテレ

千葉⇒日テレ

埼玉⇒TBS

茨城⇒テレ朝

栃木⇒フジ

群馬⇒テレ東

とあらかじめ割当て、住民に「国保事態の際、そのチャンネルを視聴する」ように平時から周知しておく。

各局は、各都県に特化した情報のみを放送。

以下余談 国保訓練の変遷と問題意識

平成19年度：市長以下全部局参加の図上訓練
主要駅等に化学剤散布事案

平成20年度：実働 & 本部運営 & 図上訓練
市内各所での爆発物事案

平成21年度：現地調整所設置 & 避難誘導実働訓練
事案は前年度のものを継続実施



本番がない中、本市の対処の是非、良否は
誰が判断し、誰が是正してくれるの？

考えついたのが「劇場型図上訓練」

他(多)機関は、本市の図上訓練を見ているだけ。プレイヤーは、本市のみ。
このようにしないと、誰も、市の対応をしっかりと見てはくれない。

他(多)機関は、
「評価者」として参加



これまでの「劇場型凶上訓練」

平成22年度

市内複数個所でのダーティボム事案
13機関・29人の評価者

平成23年度

市内に超小型原子爆弾が仕掛けられた
ことによる全市民の市外への避難事案
19機関・40人の評価者



横須賀市に超小型原子爆弾を仕掛けられ、政府は、野田総理を本部長とする緊急対処事態対策本部を設置
政府は、落ち着いて避難するよう呼びかけ

状況付与の例 「テレビでこんな報道 がされた」というもの

臨時閣議後、防災服に着替え、
総理官邸の危機管理センターに
向かう、野田総理



今年度の訓練構想

どこかの放送局に、

プレーヤーとして参加してほしい旨

依頼してみようかと・・・

どこが受けてくれるか、お楽しみに・・・

ちなみに、訓練想定は核ミサイル事案

ご清聴に感謝します

お問い合わせなどがあれば

横須賀市危機管理課危機対策推進係

電話:046-822-8410

Email:ps-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

まで、お気軽に。

自然災害を含む危機事案対処は、ナショナル
ミニマムです。皆で対処力を向上させましょう